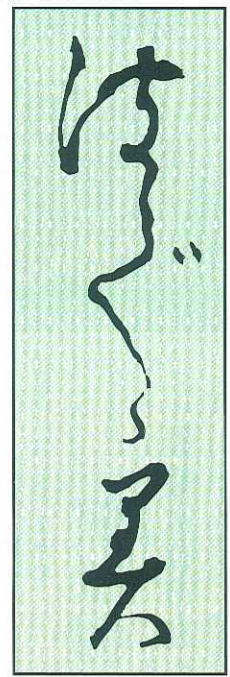


大分県PTA



発行所 大分市大字下郡496の38 大分県教育会館2F 大分県PTA連合会 ☎(097)556-9055 http://www.oita-pta.com/ 責任者 富永大輔 印刷所 大分市六坊北町4485番地の1 大分出版印刷



同じ立場で 思いの共有を

— 第4回 県P全単位PTA会長研修会 —



あいさつする富永県P連会長

8月21日(土)、大分県教育会館において、第4回県P全単位PTA会長研修会が開催された。今回は、参加した単P会長が互いに学びあえるような研修会をめざし、共通テーマでのグループ討議を取り入れた。討議では、子どもや地域が育つにはPTAが核になる必要があるのでは、という意見も出た。単P会長としての役割に意欲を感じた研修会となった。

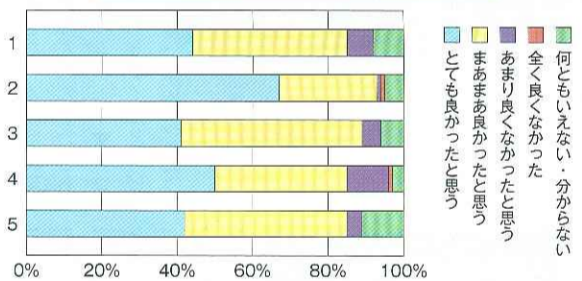
意気込み伝わる研修会

県内PTAより、各単P会長274名が出席。同じ立場の仲間と意見や情報交換を通し、単P会長としての資質の向上や問題解決の糸口をつかむ機会にしたいと開催。開会にあたり、富永大輔県P連会長が「昨年より多くの方に参加していただき感謝している。各PTAでの皆さんの責任は重い、それぞれ楽しく活動していることと思う。午後からはグループ討議がある。いろいろな観点の幅広い意見を参考にし、何かひとつでも持ち帰ってほしい」とあいさつした。

全体研修

はじめに映画鑑賞が行われ、ミュージカル「ここは命の星」(19年度の九P大分大会記念行事)が上映された。鑑賞後「子どもの可能性を再認識した」「保護者に見せたい」との感想が寄せられた。次に「ここは命の星」推進事業実施校発表会が行われた。

好評だった単P会長研修会 アンケート結果(平成22年度)



番号	質問	何ともいえない・分からない	全く良くなかった	あまり良くなかったと思う	まあまあ良かったと思う	とても良かったと思う
1	参加した感想	44%	41%	7%	0%	8%
2	全体研修会・映画鑑賞	67%	26%	1%	1%	5%
3	全体研修会・ここは命の星事業発表会	41%	48%	5%	0%	6%
4	分散会研修・グループ討議	50%	35%	11%	1%	3%
5	分散会研修・グループ討議報告会	42%	43%	4%	0%	11%

大いに議論が盛り上がった。各校の問題点、取り組みなど参考になった。県Pの活動内容が理解できた。分散会では小規模校の多いグループで、統合問題についての話が出た。同じ問題を抱えていたので、他校の意見を聞くことができてよかった。各単Pの意見交換会はともよい。継続してほしい。他の地域の会長と知り合いになれた。分散会の時間が足りない。人数も少なくしてほしい。分散会のテーマをもっと絞りこんだ方がよい。

分散会研修

午後からは会場を移し、分散会研修。10グループに分かれ「単P会長として見えてきた子どもの教育について」学校で学ぶ事、家庭で教える事」をテーマに討議した。



グループ討議報告会で発表する代表者

その他のグループでは「PTA活動を楽しいものにするには参加率が上がる」「会長になる前となった後の意識の変化(倫理観など)をぜひ保護者に伝えて」などの意見が出た。

その後の報告会では、グループの代表による発表が行われた。各グループのユーモアを交じえた報告に、会場は大いに盛り上がった。勉強になった、次回も研修会に参加したいという声が多く聞かれるなど、充実した会となった。(アンケート結果の棒グラフ参照)

研心北

▼人前で披露する人生観ある身でもないが、校歌揮毫者のご縁か、大在西小PTA研修部の依頼で「書写・書道教育で人を育て文化を創る」と題して116話した。この事前調査の中に「書写を習って「字が上手くなる」他にメリットはありますか?」とQ。私のAは①整理整頓力②ものをよく観、話をよく聞く③慌てない④単純作業の反復継続力⑤用具を大切に。私の経験則のこの5点は、ひとり書写力上達だけでなく、人間力、つまり「生きる力」を育てると確信している。23年度より新学習指導要領改訂による教科書になる。この中で書写学習は単に字形長否の習字でなく、字形の原理原則を知って発展する力を養うことが求められている。▼第52回県書写教育研究大会宇佐大会(11/5、深見小、安心院中)の研究主題も「文字の『ふしぎ』探求から活用能力へと発展する書写指導」、用具の片付けまで45分間で終わる授業が提案されていた。注目は「国の言語文化を継承させる」ために「やさしい古文や漢文の音読、暗唱を重視して」授業に取り入れていたり、校内随所に人口に膾炙された漢文や詩が掲示され、全校児童が日常生活の中でも古典に親しめる配慮があった。小中高一貫教育標榜の地域とPTAの熱意と協力が感服▼確かな学力を確立するために、基礎基本的知識技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力等の育成が強く求められている。文字を書くことが主体である書写学習は国語科書写であり、全教科の基礎基本を担っているというわけ。私は文字や言葉を知ってこそ全ての学習が成立すると強く思い続けている。

大分県PTA連合会指定研究発表会

域で育む活動展開

平成21・22年度の2年間にわたり県PTA連合会指定研究に取り組んできた3校のPTAそれぞれが、子どもとの絆を深める活動をめざした公開発表を行った。

家庭・学校・地域で連携しながら子どもたちを見守るとともに、子ども自身の生きる力も育てていかなければならない、という本来の意義を強く印象つける発表となった。

PTA指定研究発表は、昭和24年県教委が始めたのをきっかけに昭和31年から県PTAと共催で引き継がれており、他県にはない大分県P連の特色ある事業である。

現在は、大分市より1単位PTAと、県南・県北の各郡より2単位PTAを指定、2年間の研究成果を公開発表し、今後のPTA活動の振興を図り、大きな成果をあげている。

大分市立日岡小学校愛育会 11月7日

歴史ある活動と試み

大分市立日岡小学校愛育会(児童数502名、会員数431名)は「地域とのきずな」学校・愛育会・地域ではくも、子どもたち」を研究主題に公開発表を行った。

地域と一体になって

午前中の公開活動では、保護者や地域の方、教育ボランティアがゲストティーチャーになり、各学年ごとに授業

を行った。

2年生は、牛乳パックでサイクル作品(小物入れ)を作った。指導した母親は「説明も素直に聞いてくれて、とてもスムーズにできた」と話した。

3年生は、昔のくらしの話を聞いた後、昔遊びを体験。メンコやおはじきなどをした。参加した母親は「家でふだんしないことができ、とても楽しそうだった。本当はこのような遊びをしてもらいたい」と感想を述べた。



親子で真剣に作成

と題し、医師、看護師、保育士、サッカー選手など、いろいろな職種の方にその仕事について講演してもらった。看護師志望の女子児童は「なりたい気持ちは変わらないが実

地域が支える子育て

午後からの研究発表では各専門部が実践活動を報告。生活指導部では「公民館、公園の清掃など、地域の方とふれあう場が多く、子どもたちを中心に協力し合うことで成り立っている。子どもたちと向き合う機会を十分作り、地域全体で見守りたい」と発表。父親部では「日岡フェス

際に話を聞くとても大変だとわかった」と話してくれた。

6年生は日岡の歴史を自分たちで調べ発表。「日岡のお地蔵さま」について劇をする班もあった。身近な所に多くの歴史があるとわかり、発表を聞く子どもたちにも真剣な表情が見られた。

公開授業後、昼食ははさんで愛育会バザーが行われた。とり飯、豚汁、焼きそばなどが販売され、休憩コーナーで食事を楽しんだ。

毎年開催されている校区文化祭も同日行われ、各教室や校庭でのイベント、体育館での芸能発表など、どの会場も多くの人で賑わい、地域とのつながりがある充実した活動となった。



3年生のかわいいダンス(文化祭)

子どもが発する言葉の乱れが指摘されて久しい。言葉の乱れは心の乱れとも言われるが、社会の急速な変化と人間関係の希薄化が大きな要因である。特に、他人を差別、攻撃する言葉は、自分を優位な立場に立たせようとする動物的本能に因るもので、幼稚な自己中心性の表れでもあると思う。

私の勤務校でも学級PTAでその問題について話し合い、不用意に発した言葉が周りを傷つけたりする場面に、互いに事例を出し合った。話し合う中で、家によって大きな違いがある点、親の言葉づかいが大きく影響している点などが指摘された。また、学校と家庭で連携して指導を継続する点も確認できた。

親の愛情や家族のきずなでさえも崩れ去ってしまう事がめずらしくない今日、人を思いやるという、人本来の優しさを大切にしながら、言葉の持つ力や魅力について、機をとらえ、繰り返し指導していきたいと考えている。

佐伯市立上野田小学校 教諭 秋元 昭一

言葉の持つ力

その後の質疑応答では、地域と子どもたちの交流について質問があり、地域性の強さがうかがえた。

後藤裕之県教育庁社会教育課社会教育主事は「発表を見ている中で、長い歴史に伴う地域とのつながりが感じられ、愛育会という名称への特別な思いが伝わった。これからは、たくましくチャレンジする子どもたちと愛育会の活動に期待する」と指導講評した。



楽しい調理

「地元」の食物を使って作る料理はとても良いと思う。家に帰って家族に作るつもり」と女子生徒は笑顔で話した。

また、体育館では1年生の全員合唱の練習、2年生は修学旅行環流報告会を手作り新

宇佐市立長洲中学校PTA 11月13日

「信じる」と許す」

実感ある取り組み

このテーマは、昭和60年代にできた長洲地区「みんなで良い子に育てる会」の当初のスローガンの一つであり、この精神を受け継ぎたいと願って決定した。

果は午前中の公開活動にもうかがえた。

3年生は2班に分かれ活動。1〜3組は「食育と受験」と題して食育コーデイナー

を食べずイライラしていた。これからはきちんと食べるようにする」と話す男子生徒。また女子生徒は「ジュースにたくさん砂糖が入っていて驚

どれも簡単で手間がかからないように工夫されたメニュー。準備から調理、片付けまで生徒たちは慣れた手つきでこなしていた。次々とおかわりす



吹奏楽部による演奏

地域にある活動を中心に

午後からは吹奏楽部のアトラクションに続き全体発表が行われた。生活指導部が推進するあいさつ、文化部が推進するじよくじ、厚生部と研修部が推進するつたいを中心「これまでの地域にある活動」と身近な活動で継続し

「家庭・地域・学校が三位一体となって取り組み充実した活動となった」と報告した。その後の質疑応答では食育や朝食の実態調査、父親のP参加方法や職業紹介などについて意見交換された。

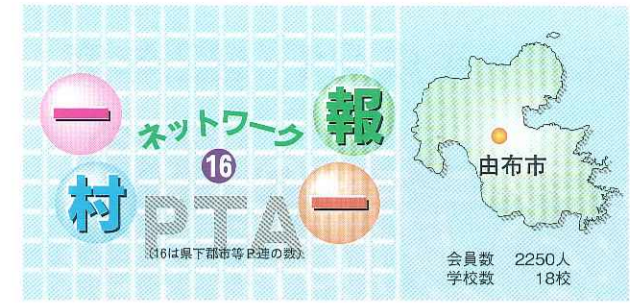
森脇康典教育庁社会教育課社会教育主事は「研究発表に取り組みの中で良い方向に向かっていく。『凡事徹底』を大事にこれからも活動してほしい」と指導講評した。

聞で発表した。

その後昼食となるが、宇佐近郊で獲れる豊幸蟹と手作り味噌を使った蟹汁が振舞われ曇りがちな天候で冷たかった空気に温かさを添えた。

「家庭・地域・学校が三位一体となって取り組み充実した活動となった」と報告した。その後の質疑応答では食育や朝食の実態調査、父親のP参加方法や職業紹介などについて意見交換された。

森脇康典教育庁社会教育課社会教育主事は「研究発表に取り組みの中で良い方向に向かっていく。『凡事徹底』を大事にこれからも活動してほしい」と指導講評した。



ネットワーク16
村PTA
(16は県下都市等P連の数)

由布市
会員数 2250人
学校数 18校

「自身と親を育てる」
「自分と子どもを育てる」を目的とした
由布市PTA連合会

由布市は、大分県のほぼ中心部に位置しています。市町村合併により由布市PTA連合会は今年で5年目になり小学校15校と中学校3校、会員数2250名で構成されています。

本会の主な活動内容として毎年9月に「会員研修会」を開催しています。約300名の参加があり、全体会、講演会、分科会という形で進んでいます。小学校は発表形式、中学校は2年に一度のワークショップを行います。本年度は提言に「ケータイは我が子に必要か」でハイパーネットワーク社会研究所の方の講話を聴き、その後グループ討議

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「地域と連携した食育の活動」昔ながらの献立のよさを見直し親子に伝える食育の活動」をテーマに今井登美子前P副会長が提言発表。「中津市P連女性部は『親学PTA』をテーマに、親学PTA連携子育てネット事業」の委託を受け食育に取り組んだ。地域や多くの団体と連携をとり、参加しやすいシステムやきめの細かい活動を行うことが大切。伝統食を生かした調理実習などの取り組みで和やかな交流が生まれ、その結果として各単P相互のコミュニケーションが密となったこと

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

くまもと大会 全体会



講演する金田一秀穂氏

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

第55回九州ブロックPTA研究大会
くまもと大会

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

「見せんと親の姿 見んと子どもの姿」を大会スローガンに第55回九州ブロックPTA研究大会くまもと大会が、10月30・31日に開催された。九州各県より約9000名(大分県からは527名)が参加した。1日目は10の会場に分かれて分科会が行われた。

おめでとうございます
平成22年度 優良PTA功労者表彰

文部科学大臣表彰 (以下敬称略)

〈団体〉 下郡小学校PTA(大分市)

日本PTA会長表彰

〈団体〉 北山田小学校PTA(玖珠郡)
第二中学校PTA(津久見市)

〈個人〉 橋本晃子(大分市)
佐藤尚信(前県P事務局長)

九州ブロックPTA会長表彰

〈団体〉 扶間小学校PTA(由布市)
南中学校PTA(臼杵市)

〈個人〉 橋本晃子(大分市)
諸富正徳(杵築市)

〈感謝状〉 橋本晃子(前県P副会長)
佐藤尚信(前県P事務局長)

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

ちば大会に参加して
大分県PTA連合会

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

第58回日本PTA全国研究大会
ちば大会

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

第19回県PTA研究大会
別府市大会

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

みんなが
がんがえる
コーナー

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

反抗期
どう接したらいいの?
手塩にかける

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

「親子で話せませんか? いじめのこと」新たな共通認識作りの取り組み」をテーマに、神部理佳P副会長が提言発表。PTAでは、いじめ予防の

MS&AD 三井住友海上

わたしのゴールキーパー

三井住友海上の GK

〒104-8252 東京都中央区新川2-27-2 www.ms-ins.com